



新年を迎えて

校長 伊勢 明子

明けましておめでとうございます。

新しい年の始まりに本年が皆様にとって幸多い年になりますようにと謹んでご挨拶申し上げます。

今年2023年、令和5年の干支（えと）は、「癸（みずのと）卯（う）」だそうです。干支は、十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）の組み合わせで決まります。十干と十二支は、数や方角、動物を表すだけでなく、それぞれ独自の意味をもっています。例えば、「癸（みずのと）」は、十干の十番目であることから物事の終わり始まりを意味する他、「癸（はかる）」という文字の一部であることから「種子が計ることができる大きさになって植えられ、成長した植物が春間近になりつぼみが花開く直前である」という意味だと言われています。「卯（う）」は、もともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門を開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われています。

以上の由来を複合し、干支である癸卯（みずのと）の2023年は、「これまでの努力が大きく花開き、結実する」という年になることを願っています。

また、ウサギ年であることから、コロナで我慢が多かったここ数年の状況からぴょんと飛躍し明るく希望に満ちた年になることを期待しています。

杉並区においては、2023年度も「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を持続・発展させながら教育活動を展開していきます。児童が自立的・協同的に考え成長できる学校を創っていきたく考えます。皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。



高井戸小屋上から見た
お正月の富士山 ←

1月の生活目標「自分からすすんであいさつしよう」

生活指導部

今月の目標は「自分からすすんであいさつをしよう」です。

コロナウイルス感染症が発現し、感染症対策として「人と人の距離をあける」・「マスクをする」・「なるべく話をしない」等が日常になりました。それらは感染対策には必要だったことなのですが、その結果＜朝のあいさつができなくなった＞という状況が子供たちの朝の登校の様子からは見られるようになりました。

人は一人では生きていけません。そして、人と人のつながりはあいさつから始まります。あいさつは自分と相手の心の扉を開きます。あいさつが返ってくると、なんとなく胸のあたりがぼかぼかと暖かくなりませんか。

新しい1年が始まります。今年は、この高井戸小学校をあいさつの響きあう学校にしていきたいと思っています。保護者の皆様もご協力よろしく申し上げます。